

## 巻頭言

愛媛大学工学部等技術部長  
(工学部長) 高橋 寛

愛媛大学工学部は、平成 31 年 4 月から従来の 6 学科から 1 学科 9 コースに再編し、新たな体制で一步をふみだしました。この新体制では、「超スマート社会」や「第 4 次産業革命」がもたらす社会・産業構造の大きな変化に柔軟に対応し、“ものづくり”や“ことづくり・システム”ができる、柔軟な発想、高度な専門的知識、実践的技術を身につけた工学系人材の育成を目指しています。

新しい教育プログラムとして、1 年次には、工学系共通の基礎的科目（数学、物理、化学、情報、安全学、工学入門科目など）や汎用力を身につけるための科目（工学コミュニケーションなど）を学びます。1 年次の教育を経たのちに、自身の適性や希望を軸にして、2 年次から、9 つの教育コースから選択し、各コースの専門分野において特徴ある授業を履修することとなります。これらの教育を通して、幅広い知識を修得し、深い専門性を涵養することで、基盤工学産業への優れた人材輩出を強化するとともに、新工学領域においても活躍できる技術者・研究者を育成してまいります。

本年度の工学部改組に伴って、工学部等技術部も機械・環境建設系、電気電子・情報系、化学・材料系、実習工場、自然科学系の 5 つの技術班から、新たに「工学共通技術班」を設置し、6 班体制となりました。新しい工学共通技術班は、1 学科、約 500 名に対して開講される工学共通基礎科目の実施を支援します。また、工学部を構成する全ての学生、教職員が、安心、安全に学び・働ける環境を実現するため、工学部における安全衛生管理を支援します。

改組後も工学部等技術部は、実験・実習などの教育支援、機器製作、調査・分析などの研究支援、それら教育・研究を円滑に進めるための情報通信基盤整備や安全衛生管理などを含めた環境整備に従事します。さらに、オープンキャンパスや科学体験フェスティバル等の社会貢献行事支援など、年間を通した幅広い活動を実施します。

このたび、これら平成 30 年度の技術部における活動状況を「愛媛大学工学部等技術部活動報告集 Vol.18」としてとりまとめましたので、ご報告致します。活動報告集へ技術論文を掲載することや学内外において技術発表講演を行うことによって、個々の技術職員が業務において創意工夫するなかで得られた知見やノウハウなどを共有化することができ、これらの取り組みが技術の伝承や新たな技術開発につながっていくと信じております。

工学部等技術部も大きな変化に柔軟に対応する必要があります。今回の工学部改組においても、新しい取り組みに果敢にチャレンジすることが求められており、この活動報告集により活動記録が学内外へ示されることで、多くの方々からのご助言を得て、今後のさらなる発展につながることを期待しております。

ぜひ、皆様におかれましては活動報告集をご一読いただき、工学部等技術部へのご理解とともに、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

